

# モラル・ハラスメントを許すな！⑬

## 社会が家族を追い詰めている

これまで、「ダブルバインドという監獄からの脱出」(12月号:職場におけるモラルハラスメントの実態と心理メカニズム)、「京都小6女児刺殺事件」(3月号、4月号:青年を殺人にまで追い詰めてしまった家族風土)、『「18歳軟禁少女」と「スーズン」と「少年A」』(5月号:ブラックボックスとなってしまった家庭の中で起きる無視の怖さ)を書かせていただいた。今回は、地域社会が家族を追い詰めている例を取り上げたいと思う。私が実際に家族カウンセリングを行ったその方は、同じように追い詰められているご家族の救いにつながれば、と掲載を快諾してくださった。日系社会に住む皆様のご参考になれば幸いである。

「中学生の息子が学校に行かなかったり、大声を上げて暴れたりする」というお父さんからのメールが届いた。いくつかのカウンセラーに当たり、週1回1時間行くことを繰り返しても埒があかず、ブログを見て私にお願いしたいという。

お伺いした所は、親は大企業に勤め、子どもたちは有名大学に行っている、いわば地域全体が大企業の社宅のような均質社会だった。

高校は完全に序列化され、A高校の併願はB高校という具合に併願のセットまでが決まっていた。つまり、どの高校に行くかで、その生徒の学力が世間から丸見えなのだ。中学は生徒を高校へ振り分けるための機関となっており、生徒の内申を握る教師は絶大な権力を持っていた。驚くべ

きことに進路についての生徒の希望は許されず、三者面談は先生がその生徒が行くべき高校をご託宣する場だった。「運動会は北朝鮮のようでした」—その父親は言った。毎日のように練習し怒鳴り声。一糸乱れぬ統率。そして軍隊のような行進…。

お会いした息子さんは極めてノーマルだった。私だってそういうことがあれば行かないだろう。そういうエピソードを話してくれた。ストレス源から距離を置くのが鉄則。かといって全く行かなくなるわけではなく、自分に無理がないように中学と付き合っている。ある意味、随分大人だった。

「気が楽になりました」—彼は私に言った。

「外からの客観的なお話を伺うことができ、大変心がやすらぎました」「今まで不安であったものが、殻が外れるように取れたような気がしております」「普通の子だと言われたことで私共は本当に心が軽くなりました」—ご両親はそう御礼を言われた。

おかしくなっているのは、その地域の“現実”の方だったのだが、その“現実”の価値観を空気のように呼吸しているご両親は息子の立場からもものを見ることができなかった。ご両親は、この道しかないと思い込んでいた自分たちの考え方の方が硬直化していたことに気づかれた。息子さんが気づかせてくれたのである。

生物は環境適応能力を持っている。人もどのような環境にも慣れてしまう。それが、同級生が自殺したような地域であつてもだ。



息子さんの本当の願いは、その地域からの家族共々の離脱だった。しかし、地域とつきあいのある母親のことなどを考えて、彼はその選択肢を無意識のうちに除外していた。

本当の出口をふさいでしまったために彼は借りの出口(進路)を求めてのたうち、毎日のように違うことを言った。しかし、カウンセリングを通じて自分の本音に気づいたとき症状は治まった。あとは、互いの気持ちを大事にしながら、現実的な問題に取り組むだけである。

社会の常識がおかしくなりつつある現代、大人一人一人が立ち止まって、今自分がやろうとしていることを考えなければならない。そして、社会の常識が無批判に家庭の中にまで侵入しないように、親が防波堤となって家庭を守らなければならない。その社会の“競争”から一歩降りることも必要だ。しかし、それはとても勇気が必要な一歩だ。私はそこを支えたいと思っている。

【家族の問題解決ナビゲーター 中尾英司】

### パビリオン [グループ定期購読]

お友達・ご近所様、企業様へも、一緒にまとめてお届け！みんなでパビリオンを読もう！

●下記、必要事項を別紙にご記入(またはE-mail)、チェック添付の上、下記宛先までお送り下さい。チェック受取り後、弊社よりE-mail(またはTEL)にてご連絡させていただきます。  
※E-mail(またはTEL)ご連絡先を必ずお知らせ下さい！

#### ■必要事項■

<選択> 20冊/12ヶ月購読希望(\$350) 40冊/12ヶ月購読希望(\$600)  
<必須> Name(Company Name): / Address: / Zip: / TEL: / E-mail:  
※お届け先は一つ所のみ、チェックお支払いもお一人様(代表者)のみでお願い致します。

●月一回発行(毎月月末)※米国内のみの発送 ※小部数または40人以上の大部数でも対応可能です。  
毎月20冊(計240冊)=\$350(お一人・年間\$17.50) 別途、お問い合わせください。  
毎月40冊(計480冊)=\$600(お一人・年間\$15)

To: Pavilion Graphics Inc. E-mail: pavilion@johoya-usa.com  
1699 Wall St. Suite 210, Mt. Prospect, IL 60056

#### ■著者紹介■

中尾英司  
(家族相談士・シニア産業カウンセラー)



電話相談、メールカウンセリング、及び月2回ほど全国各地のご家庭を訪問してご家族の問題解決に当たっている家族カウンセラー。子育ての問題全般、ADHD、不登校、窃盗癖、ギャンブル依存、統合失調症、DV、離婚、会社のセクハラ・パワハラ対応、会社との共依存、転職の問題などを手がけている。講演依頼.COMの講師として、組織改革や子育ての心理についての講演やセミナーも行う。

著作:「あきらめの壁をぶち破った人々」(日本経済新聞社 03/11)

「あなたの子どもを加害者にしないために」(生活情報センター 05/08)

サイト:「中尾相談室」、「組織改革ご支援.COM」

ブログ:「あなたの子どもを加害者にしないために」

メール:sodan@jiritusien.com